

内視鏡検診6割に達す

鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会胃がん部会
鳥取県健康対策協議会胃がん対策専門委員会

- 日 時 平成23年2月12日（土） 午後1時50分～午後3時50分
- 場 所 鳥取県健康会館 鳥取市戎町
- 出席者 27人
岡本健対協会長、池口部会長、吉中専門委員長
秋藤・伊藤・大口・岡田・尾崎・清水・謝花・建部・苗村・
西土井・藤井武親・前田・三浦・三宅・八島・山口各委員
オブザーバー：松本岩美町保健師、藤原智頭町保健師
洞ヶ瀬湯梨浜町保健師
県健康政策課：下田副主幹、田村主事
健対協事務局：谷口事務局長、岩垣係長、田中主任

【概要】

- ・平成21年度の受診率、検診発見がん率等の実績は、平成20年度とほぼ同様の結果であったが、受診者数全体のうち内視鏡検査実施率は増加傾向にある。確定調査からは、内視鏡検診が開始され約10年経過し、早期癌が多く発見され、内視鏡切除も増えている。
- ・鳥取県胃がん内視鏡検診実施に係る手引きの一部改正が承認された。改正内容は、「内視鏡画像の読影は、原則として、各地区医師会が認定する胃がん内視鏡検診の読影を行う医師等、十分な経験を有する医師を含む2名以上の医師により行うものとする。」というもの。

タル車が導入され、X線写真の新たな読影方法について、本日、保健事業団の放射線技師より説明があった。今後の読影体制について、委員の皆さんとご相談しながら決めていきたい。

いまだに、内視鏡検診は胃がんの死亡率減少に役立っていないのではないかという意見もありますので、より一層の精度管理に努め、県民のための検診を向上していきたいと思っています。

〈池口部会長〉

平素 胃がん検診事業にご協力頂き、有難うございます。

内視鏡検診で見つかるのは早期癌が多く、費用対効果では非常にいい成果が出ていると思われる。忌憚のないご意見をお願いします。

〈吉中委員長〉

平成21年度実績によると、内視鏡検診の実施割合が6割を達した。対策型検診としては、全国でも突出した実績です。

挨拶（要旨）

〈岡本会長〉

鳥取県保健事業団の胃がん検診において、デジ

昨年10月の第80回DDWにおいて、山形大学の深尾教授が、米子市のデータをもとに、内視鏡検診の有効性評価について発表された。それによると、有利な死亡率減少効果が認められるが、X線検査の死亡率減少効果を上回るものではないということであった。

また、精度管理対策を十分に講じた上で、内視鏡検診を普及、拡大することに問題はないとも発表された。近いうちに論文発表される予定である。

報告事項

1. 平成21年度胃がん検診実績報告並びに22年度実績見込み及び23年度計画について

〈県健康政策課調べ〉：

下田県健康政策課がん生活習慣病担当副主幹
〔平成21年度実績最終報告〕

対象者数（40歳以上のうち職場等で受診機会のない者として厚生労働省が示す算式により算定した推計数）188,186人のうち、受診者数はX線検査17,352人、内視鏡検査は25,449人で合計42,801人、受診率は22.7%で前年度比増減なしであった。受診者数全体のうち、内視鏡検査の実施割合は59.5%で、年々増加している。

X線検査の要精検者数は1,300人で、要精検率7.5%。精検受診者数1,061人、精検受診率は81.6%で平成20年度より1.4ポイント減少した。集団検診の要精検率6.5%。医療機関検診は10.7%で、依然として中部が30.5%と非常に高い。

内視鏡検査の組織診実施者数1,898人で、組織診実施率7.5%で、市町村で格差がある。

検査の結果、胃がん143人（X線検査29人、内視鏡検査114人）、がん発見率（がん／受診者数）は、X線検査0.17%に対し、内視鏡検査0.45%で2.6倍も高かった。胃がん疑い49人（X線検査5人、内視鏡検査44人）であった。

陽性反応適中度（がん／精検受診率）はX線検査2.7%である。また、内視鏡検査の陽性反応適中度はがんを組織診実施者数で割った率で求めた

ところ6.0%であった。

平成21年度実績は平成20年度とほぼ同様の結果であったが、受診者数全体のうち内視鏡検査実施率は増加傾向にある。

中部地区のX線検査の要精検率が高い件について委員からは、地区で行う症例検討会に検診医は必ず参加して頂き、X線写真の撮り方等の指導を行うことが大事である。また、人間ドックの精度向上には、検診医にも従事者講習会等に参加して頂く必要があるという意見もあった。

〔平成22年度実績見込み及び平成23年度計画〕

平成22年度実績見込みは、対象者数188,186人に対し、受診者数は44,378人、受診率23.6%で平成21年度より約1,600人増の見込みである。また、平成23年度実施計画は、受診者数47,437人、受診率25.2%を予定しており、増加傾向である。

委員より、がん検診受診率50%以上の目標達成には、市町村が対象者の把握をしようとする努力が必要であるという意見があった。

なお、これに関連した話として、県からは、医師会、医療機関に協力して頂き、職域が行う検診等の実績を把握し、県内全体の実態把握を行う取り組みをしているとの報告もあった。

〈鳥取県保健事業団調べ〉：三宅委員

〔住民検診〕

平成21年度の受診者数13,131人、要精検者844人、要精検率6.4%（東部5.3%、中部8.1%、西部5.9%）で、判定4と5の割合は5.8%（東部4.2%、中部5.6%、西部2.9%）であった。

要精検者数に対してのがん発見率は3.2%（東部3.0%、中部3.2%、西部3.4%）であった。

初回受診者は1,469人で、要精検者は121人で、要精検率は8.2%であった。判定4と5の割合は8.3%であった。平成20年度に比べ、初回受診者が増え、要精検率、判定4と5の割合が高くなった。

〔一般事業所検診〕

受診者16,921人のうち、要精検者は1,132人で、要精検率は6.9%で、判定4と5の割合は5.6%で、がん発見率は0.4%であった。精検結果未報告は62.5%であった。

2. 平成21年度胃がん検診発見がん患者確定調査結果について：秋藤委員

平成21年度に発見された胃がん及び胃がん疑い192例について確定調査を行った結果、確定胃がんは141例（一次検査がX線検査：車検診20例、施設検診8例、一次検査が内視鏡検査：113例）であった。発見癌率は0.329%であった。

調査結果は以下のとおりである。

- (1) 早期癌は113例、進行癌は28例であった。早期癌率は80.1%で、東部83.1%、中部80.0%、西部77.2%であった。
- (2) 切除例は133例で、そのうち内視鏡切除が47例で全体の約35%を占め、増えている。非切除例が8例で、手術拒否1例、手術不能7例であった。高齢者の症例が最近増えてきていることが影響していると思われる。
- (3) 性・年齢別では、男性82例、女性59例であった。80歳以上が全体の2割を占めている。最高齢は92歳であった。
- (4) 早期癌では「Ⅱc」が67.3%で大半を占めている。進行癌では「1」、「2」が32.1%を占めている。また、分類不能の「5」が8例あり、全体の28.6%も占めた。
- (5) 切除例の深達度では「t1」が111例で、そのうちmが76例であった。
- (6) 切除例の大きさは2cm以内が50.7%であった。車検診では55.0%、施設検診では62.5%、内視鏡検査では49.1%で、小さいものが見つかっている。
- (7) 早期癌の占拠部位では小弯が多くなっている。内視鏡検査ではX線検査では見つかりにくい、前壁が多くなっている。
- (8) 肉眼での進行度stage I aはX線検査22例で

89.3%、内視鏡検査85例で77.2%だった。Stage IVが6例もあった。

- (9) 前年度受診歴を有する進行癌は、東部2件、中部2件、西部5件であった。この症例については、地区読影会において症例検討を行って頂く。西部5件については、既に症例検討が行われており、古い機器が使われていたり、写真の撮り方が悪かったりしたことが指摘されたとのことだった。

内視鏡検診が開始され約10年経過し、早期癌が多く発見され、内視鏡切除も増えている。

3. 胃がん死亡ゼロのまち中部プロジェクト事業について：

下田県健康政策課がん・生活習慣病担当副主幹 中部地区の胃がん検診受診率が東部、西部地区に比較し低い傾向にあることから、県中部総合事務所福祉保健局が実施主体となって、管内1市4町及び医師会、がん診療連携拠点病院（鳥取県立厚生病院）等と連携し、胃がん受診率向上を目指すため、モデル事業として「胃がん死亡ゼロのまち中部プロジェクト事業」を平成23年度より3年間行う。

主な内容は以下のとおりである。

- (1) 胃がん一次検診への胃内視鏡検診の普及として、医師の技術向上のための研修と精度管理を行う。また、中部医師会等と連携した胃内視鏡検診が身近で受けられる体制づくりとして、受診勧奨のためのチラシ、ポスター配布等の啓発活動や休日検診の推進を行う。
- (2) 中部地区胃がん検診推進連絡協議会を開催し、胃がんゼロを達成するための問題点や課題について意見交換を行う。
- (3) 健康マイレージ制度の実施（市町主催、圏域内企業協賛）

4. がん検診受診率向上プロジェクトについて：

下田県健康政策課がん・生活習慣病担当副主幹
鳥取県健康政策課においては、「がん検診受診率向上プロジェクト2011～新規受診者を掘り起こせ！～」として、検診体制強化としては、市町村がん検診知事表彰事業の継続、大腸がん検診特別推進事業、休日がん検診支援事業については事業を拡大して継続実施。また、新たに「地域のがんを考える協議会」を設置し、県福祉保健局が中心となり、各圏域で関係団体が連携し、地域の特性に応じたがん対策の協議を行う予定である。

啓発活動としては、がんを知る県民フォーラム等の開催や、新規事業「がん検診受診率向上総合啓発事業」として、テレビCM、ラジオCM、新聞広告、大型ショッピングセンター等での啓発活動など、来年度さらに事業拡大する予定との報告があった。

協議事項

1. 鳥取県胃がん内視鏡検診実施に係る手引きの一部改正について

昨年、7月8日開催の本会において、胃がん検診のX線フィルム読影については読影方法が手引きにより規定されているが、内視鏡画像の読影については手引きに規定されていないことについて県から意見があり、協議した結果、検診精度水準の確保の観点から、内視鏡画像の読影体制について一定の基準を設けることが望ましい。読影者等の基準については、次回会議で協議することとな

っていた。

県から以下のとおり改正案の提案があり、協議の結果、原案どおり承認された。

・内視鏡画像の読影

内視鏡画像の読影は、原則として、各地区医師会が認定する胃がん内視鏡検診の読影を行う医師等、十分な経験を有する医師を含む2名以上の医師により行うものとする。

2. 胃がんハイリスク・スクリーニング検査モデル事業について

県内のモデル地区において、現在実施している胃がん検診に加え、ペプシノゲン検査、ピロリ菌抗体検査を実施し、胃がんになりやすいかどうかを受診者自身に自覚して頂き、内視鏡検診など今後の適切な胃がん検診を推奨。胃がんの早期発見に繋げる取り組みを今後検討してみたいと思うが、専門的な見地から率直なご意見を伺いたいと県から概要説明があった。

このことについて、協議の結果、課題はあるもののモデル実施は意義あるものとし、特に反対とする意見はなかったが、ハイリスク検査を実施する際は、受診者側に誤った理解をさせないように正しい知識の普及に留意する必要があるとの意見もあった。

県は、実際に実施するにはさまざまな課題もあることから、引き続き本会などで協議させていただきながら今後検討していきたいとのことであった。

胃がん検診従事者講習会及び症例研究会

日 時 平成23年2月12日（土）

午後4時～午後6時

場 所 鳥取県健康会館「研修センター」

鳥取市戎町

出席者 150名

（医師：131名、看護師・保健師：4名、

検査技師・その他関係者：2名）

吉中正人先生の司会により進行。

講 演

鳥取県医師会理事 岡田克夫先生の座長によ

り、国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院院長 細川 治先生による「胃がん内視鏡検診を巡る課題」の講演があった。

症例検討

尾崎真人先生の進行により、3地区より症例を報告して頂いた。

1) 東部症例 (1例):

鳥取市立病院 柴垣広太郎先生

2) 中部症例 (1例):

鳥取県立厚生病院 秋藤洋一先生

3) 西部症例 (1例):

山陰労災病院 神戸貴雅先生

子宮頸がん検診の新たな展開に向けて

鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会子宮がん部会
鳥取県健康対策協議会子宮がん対策専門委員会

■ 日 時 平成23年2月13日(日) 午後2時～午後3時50分

■ 場 所 鳥取県西部医師会館 米子市久米町

■ 出席者 21人

紀川部会長、原田専門委員長

伊垢離・井庭・板持・伊藤・大口・岡田・澤住・清水・

田中・作野・富山・皆川・吉田・吉中各委員

県健康政策課：下田副主幹、横井主事

健対協事務局：谷口事務局長、岩垣係長、田中主任

【概要】

・平成21年度検診実績によると、「女性特有のがん検診推進事業」で対象者に無料クーポン券が送付されたことにより、20～40歳までの受診者数が前年度より多く受診している。近年減少傾向であった受診率は、平成20年度に比べ2.0ポイントの増、受診者数も約2,600人増加しており、一定の受診率向上効果があったと思われる。また、20歳代で異形成が16例も見つかっており、将来、進行癌となる危険性から防ぐことが出来る早期の段階で発見されたことは、検診の効果は大きい。

・県は、国の平成22年度補正予算による「子

宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金」をもとに『子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時基金』を創設。平成22年度は14市町村が実施。平成23年度は19市町村が実施する予定である。

子宮頸がん予防(HPV)ワクチンは、対象者が中学校1年生～高校1年生の女子で、3回接種。

挨拶(要旨)

〈紀川部会長〉

本日開催致します従事者講習会では、鳥根県立中央病院の岩成先生にHPVワクチンの話をして頂きます。また、症例検討会においては、鳥取県